

---

# ねこのおみせ

芸熊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ねこのおみせ

### 【Nコード】

N9370M

### 【作者名】

芸熊

### 【あらすじ】

お題SS合戦

お題…駄菓子屋の猫

飴さんとお題SS合戦です><

飴さんのSSはこちら←

<http://ncode.syosetu.com/n9189m/>

「ただいま」

そう一言告げて僕は窓の縁に爪を立てる。

そうするとおばあちゃんはいつもにっこり笑って何か言うんだ。  
窓を開けてもらって中に入ると暖かい空気が流れてる。

ご飯食べてまた遊びに行こうと思ったけど、眠くなるなあ。

「あらあら、気持ち良さそうな顔で寝ちゃって」

――ガラガラ

「あら、いらっしやい。今日はちょっと静かにしてね。ほら」

おばあさんが指をさした先には美しい毛並みの黒い子猫が丸まって寝ていた。

そんなことはお構いなしに騒ぎ、それぞれ好きなお菓子を選ぶ子供たち。

――ぼく、これ。

――おれ、くじ引きたい。

――えっと、わたしはこれがいいな。

「んー、うるさいなあ」

僕は騒がしい音に気付き起き上がると、目の前には人間の女の子が居た。

――かわいい。おばあさん、このこだっこしていい。

「うわあ、やめろ」

僕の抵抗など無視して女の子たちは僕を抱き上げた。  
この子たちには僕の言葉は通じないみたいだ。  
おかしいなあ。おばあちゃんには通じてるのに。  
でも、気持ち良いなあ。

――このこ、のどならしてるよー。

「あらあら、気持ちいいんだねえ」

ほら、やっぱりおばあちゃんには分かるんだ。  
このまま寝ようかなあ。

――おい、おれらにもさわらせろよー。

――いやよ、あんたたちらんぼうするでしょ。

――しねえよ。

「ほらほら、仲良くしなきゃだめよ」

――はーい。

男の子たちの手に抱かれると今までの気持よさが嘘のようになくなった。

ゴツゴツしてる。

「いーやーだー。はなせー」

――なんだよ、こいつ。かわいくねえなあ。

――ね、せっかくなでやってるのに。

男の子たちの手から飛び降りると僕は店先に走っていく。  
よし、誰も追いかけてきてないみたいだ。

「おばあちゃん、そろそろまた遊びに行ってくる」  
「そうかい、いつてらっしゃい」

おばあちゃんの笑顔が僕を見送った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9370m/>

---

ねこのおみせ

2010年10月28日08時24分発行